

研究計画書

ゼミ名	上島ゼミⅡ	チーム名	シンプソنز Jr.
タイトル	雇用システムから見た若者の雇用問題		
テーマ群	c)公共経済		
メンバー	中島光基 牟田瑞穂 桑原寛明 堀野浩平 今井翔子 久保優子 大浦茉莉 瀬石直美 藤井茜 柚木愛理		
研究計画内容	<p>12月1日 — 私たちの就活が始まります.そこで出会った会社に人生の40年間をゆだねるかもしれません.志望する会社から内定を得るため,みんなが必死の思いで就活を戦います.ここで,疑問が浮かびました.</p> <p>--- 「なぜ、日本では就活があるのか？」</p> <p>欧米型雇用システムでは,就職は性別や年齢ではなく,スキルがあるかないかで決まります.これに対して,日本型雇用システムでは,会社は職業能力をもたない学校卒業者を雇って一人前になるように育てます,そのために,就活では「人間力」といったあいまいな基準で選別されることとなります.しかし,このような仕組みでは仕事内容や労働条件の面でミスマッチが生じて,早期退職を引き起こすかもしれません.そこで,次に</p> <p>--- 「三年以内に辞める職場と辞めない職場の違いは何だろうか？」</p> <p>新卒一括採用方式は人生で一回限りの勝負であり,就活で失敗すると復活することがむずかしい残酷な制度です.もし早期退職してしまったら,残りの人生をあきらめるしかないのでしょうか.そうならないために,たとえブラック企業でも我慢して働くべきなのでしょうか.そして,最後に</p> <p>--- 「学卒無業者や早期退職者の就職をだれがどう支援してくれるのか？」</p> <p>上記に対する答を,統計資料とともに,早期退職者や就職支援の frontline にたつ人などへのインタビューを通じて探ります.</p> <p>発表の最後に,研究内容をふり返って,就活においては会社のどこに注目すればいいのか.万一,会社を退職したら再就職に向けてどう動けばいいのかについて,学生にとって役に立つガイドラインを提供します.</p>		